学校番号	３２３

令和２年度　英語科

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	3	第３学年	三省堂出版「MY WAY English CommunicationⅢ」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　コミュニケーション英語Ⅲの授業は、「読むこと」、「聞くこと」の技能を磨きながら、内容をまとめる、自分の意見を書いてみるなどのアウトプット活動にも挑戦し、「話すこと」、「書くこと」の技能の育成もめざす授業です。そのためにも、ただ授業を聞くだけではなく、本文の題材についてよく考え、意見を交換するなど、積極的に授業に参加することを期待します。

・　第３学年として、既習の文法項目を復習していくとともに、新たなイディオムや慣用表現を知り、実際に使用されるシチュエーションなどを意識しながら、

・コミュニケーション英語Ⅲの授業では、英語の知識だけではなく、他教科で学習するようなトピックや話題を扱うという特徴もあります。英語を通して、さまざまな分野に目を向けられるようにしましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ◆身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	コミ英Ⅲ 定期考査 英文の添削	◆身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ◆慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。	コミ英Ⅲ 定期考査 英文の添削	◆日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ◆ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。	コミ英Ⅲ 定期考査 インタビューテスト	◆300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 ◆簡単なマニュアルや手引き書などを理解し、その内容に沿って行動（ゲームや工作など）することができる。	コミ英Ⅲ 定期考査 音読・暗唱テスト

3　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその使い方（場合）の知識を身に付けていることと、言語以外の異国文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (4 時間)	イギリスのナローボートについて、その歴史と現在の様子を順序立てて呼んでゆく。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語表現の能力」			
		・感情を込めながら、聞き手が理解できるように、大きな声で音読する。 ・書かれている内容を的確にまとめて、英文や口頭で表現する。	・ワークシートを用いて、単語などを導入しながら、簡潔な英語で会話をする。	・感情を込めながら、聞き手が理解できるように、大きな声で音読できる。 ・書かれている内容を的確にまとめて、英文や口頭で表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ディスコースマーカーを見つけ、書かれている内容を、順序良く内容理解に役立てる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イギリスの人々の生活に思いを馳せ、イメージとともに、その内容を理解する。	・英文を読んで、日本人には馴染みのないナローボートについて理解する。 ・ディスコースマーカーを見つけ、内容理解に役立てる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英文を読んで、日本人には馴染みのないナローボートについて理解し、興味関心を呼ぶ。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の省略を理解できる。 ・受動態を理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 2 (4 時間)	ペルーでマチュピチュ村の村長になった野内与吉の生き方について考えていく。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・野内与吉の生き方について読んで、相手を意識しながら音読をする。	・ワークシートを利用して、セクションごとに進出単語の発音を意識しながら。ペア・ワークで行う。	友好都市協定きっかけは何だったのかを推測しながら読んで、相手を意識しながら音読できる。	・ワークシートの取り組みと、音読観察で判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・新出単語を活用しながら友好都市協定について、適切に表現する。	・ワークシートを用いて、セクションごとに野内与吉のペルー移住について簡単に会話をする。	・新出単語を活用しながら日本人が海外で活躍するための秘訣について自分の意見を、適切に表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・書かれている事柄について、速読しながら情報を整理し、内容を的確に理解する。 ・時代の背景を理解しながら、現在に残る功績について理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・書かれている事柄について、速読しながら情報を整理し、内容を的確に理解できている。 ・時代の背景を理解しながら、現在に残る功績について理解できている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ディスコースマーカーを見つけながら、時系列に従って読んでいく技術を身に付ける。	・本文中で用いられている以外のディスコースマーカーを確認する。	・同格について理解できる。 ・知覚動詞＋目的語＋現在分詞の文を理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

Lesson 3 （4 時間）	話題になった iPS 細胞について学び、科学的内容の文を読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、セクションごとに消滅する言語について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語表現の能力」			
		・iPS 細胞についての討論において、積極的に自分の考えを表現する。	・ワークシートを用いて、セクションごとにテーマを設定し、それについて英語を使って表現する。	・iPS 細胞についての討論において、積極的に自分の考えを表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文に沿って、さまざまな言語に関する問題や課題を整理しながら理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・本文に沿って、さまざまな言語に関する問題や課題を整理しながら理解できている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・科学的な読み物に触れながら、原因と結果を表す文に焦点を当て、より正確に理解していく。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・様々な関係代名詞が理解でき、使うことができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 4 （4 時間）	古代ローマ人の入浴事情について読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、セクションごとに詩の特性について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語表現の能力」			
		・聞き手に対して気持ちが伝わるように、感情を込めながら詩に読むことができる。	・ワークシートを用いて、セクションごとにテーマを設定し、それについて英語を使って表現する。	・聞き手に対して気持ちが伝わるように、感情を込めながら詩に読むことができている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・数字がたくさん出てくるので、その数字が何を表すのか意識できる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・本文中の数字が何をしめしているのか、理解することができている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・イギリスのバースにあるローマ浴場博物館の映像を見て、古代ローマ人の風呂と、現代日本人の風呂との違いについて考える。	・本文を読みながら、身近な自分たちの生活と比較し、違いを確認する。	・It ~ that の構文や、not only ~ but also 、no longer などの表現に慣れる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 5	進化する人	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

（5 時間）	ロ知能は、私たちの社会にどのような影響をあたえるのかについて学び、その特徴を知る。	・人工知能の変化が私たちの暮らしにどのような変化をもたらしたか説明する。	・ワークシートを利用して、セクションごとにAIへの関わり方について、ペア・ワークを行う。	・AIの今後の発展ついて、教科書の要約を英語でまとめて、グループで調べて発表する。	・ワークシートの取り組みと、音読観察で判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・AIを進化させた技術・AIの現状を発表する。	・イントネーションなどに注意しながら、何度かモデルリーディングをしたあと、ペアで練習を重ねる。	・AIへの関わり方がはっきり伝わるように、読み聞かせることができている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・AIへの今後の展望について英文を読んで、理解していく。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・例示のディスコースマーカーを理解することができている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去分詞で始まる分詞構文や完了の分詞構文について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・様々な分詞構文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 6 （5 時間）	電子書籍と紙の書籍の違いについて認識を深め、双方の利点について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	・ワークシートを利用して、セクションごとに赤ちゃんの特性について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	（本単元では設定しない）	
		「外国語表現の能力」			
		・流れてくる音声を聞き、できるだけ真似をしながら読もうとする。	・コーラスリーディングやペアリーディングを利用して、数回行う。 ・ディスカッションにつながるように、自分の意見をまとめる。	・流れてくる音声を聞き、できるだけ真似をしながら読もうとしている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・電子書籍と紙の書籍の違いを正しく理解することができる。 ・対話や討論において、相手の考えや意図を的確に理解することができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・電子書籍と紙の書籍の違いを正しく理解することができている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較・対照を示すディスコースマーカーに注意を払う。 ・It ~ to の構文や、比較表現について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・It ~ to の構文や、比較表現について理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 7	日本の麺類	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

（5 時間）	の中でも、蕎麦に焦点を当て、蕎麦の、世界での消費について学ぶ。	・本文を読んで知り得た情報を、積極的に友達に英語で伝えようとしている。	・ワークシートを利用して、セクションごとに世界の蕎麦料理の特性について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	・本文を読んで知り得た情報を、積極的に友達に英語で伝えることができている。	・ワークシートの取り組みと、音読観察で判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・蕎麦に関して、本文の情報をもとに、自分の考えを英語でまとめる。 ・蕎麦に関して、自分の意見や考えを根拠とともに、発表する。	・ワークシートを用いて、セクションごとにテーマを設定し、それについて英語を使って表現する。	・蕎麦並びに日本食に関して、本文の情報をもとに、自分の考えを英語でまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・蕎麦料理の現状を理解しながら、書かれている情報を正しく理解する。 ・CD などの音声を聞いて、本文を見ずに書かれている内容を把握する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・蕎麦料理の現状を理解しながら、書かれている情報を正しく理解できている。 ・CD などの音声を聞いて、本文を見ずに書かれている内容を把握できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較表現や動名詞について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動名詞や比較表現について理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 （5 時間）	自然界でミツバチやスズメの数が減っているのはなぜかについて、その実態とについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・消えゆく小さな生き物は、私たちに何を伝えようとしているのかについての知識を学習した単語・表現を使って、ペアで英語を使って話し合う。	・ワークシートを利用して、セクションごとに生き物からの恩恵をいかに私たちが受けているかについて例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	・ミツバチの大量消滅スズメの減少についての知識を学習した単語・表現を使って、ペアで英語を使って話し合っている。	・ペアでの活動を観察する。 ・ワークシートに記入させて、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・示されたテーマについて、自分の考えをまとめ、積極的に発表する。	・ワークシートを用いて、セクションごとにテーマを設定し、それについて英語を使って表現する。	・示されたテーマについて、自分の考えをまとめ、積極的に発表することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文を速読や精読をしながら、書かれている概要を正確に理解することができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・本文を速読や精読をしながら、書かれている概要を正確に理解することができている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・身近な小生物で、親や祖父母の頃には当たり前にいたが、今は見かけなくなったものに注意を向ける。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法について、理解できている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 9	アウン・サ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

（6 時間）	ン・スー・チーさんの人生について学び、考える。	（本単元では設定しない）	・ワークシートを利用して、セクションごとにスー・チーさんという人物について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	（本単元では設定しない）	
		「外国語表現の能力」			
		・本文を速読しながら、書かれている概要を適切にまとめる。 ・友達と、アウン・サン・スー・チーさんの生き方ついて意見を交換する。	・ワークシートを用いて、セクションごとにテーマを設定し、それについて英語を使って表現する。	・本文を速読しながら、書かれている概要を適切にまとめることができる。 ・友達と、アウン・サン・スー・チーさんの人生について意見を交換することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・アウン・サン・スー・チーさんの人生について、速読で内容を理解する。 ・彼女の人生に関する話し合いの中で、友だちが話している内容を的確に理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・彼女の人生や祖国愛について、速読で内容を理解できている。 ・彼女の人生に関する話し合いの中で、友だちが話している内容を的確に理解できている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了形(経験)/ 使役動詞/ 形式主語 it/ There 構文（There could be～.)を理解している。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了(経験)/ 使役動詞/ 形式主語 it/ There 構文（There could be～.)を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson １０ （6 時間）	記憶力を高める方法について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	・ワークシートを利用して、セクションごとにストレスの特性について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	（本単元では設定しない）	
		「外国語表現の能力」			
		・記憶法について、自分自身のやり方や経験を相手に正しく伝える。 ・本文をリズムやイントネーションに注意しながら、相手にわかるように音読する。	・ワークシートを用いて、セクションごとにテーマを設定し、それについて英語を使って表現する。	・記憶方法について、自分自身のやり方や経験を相手に正しく伝えられている。 ・本文をリズムやイントネーションに注意しながら、相手にわかるように音読できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文に書かれている内容を表のデータを参考にしながら理解する。 ・友だちによる本文の音読や、記憶法に関する話を正しく理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・本文に書かれている内容を理解することができる。 ・友だちによる本文の音読や、記憶法に関する話を正しく理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・さまざまな譲歩の表現 / 副詞 even（～でさえ）/ 不定詞を使った慣用表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・さまざまな譲歩の表現/ 副詞 even（～でさえ）/ 不定詞を使った慣用表現を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストで、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson １１	選挙権に関	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

（6 時間）	して、世界中で投票できる年齢は異なるし、日本でも変更があった。自分なりの意見をまとめる。	（本単元では設定しない）	・ワークシートを利用して、セクションごとに投票年齢について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	（本単元では設定しない）	
		「外国語表現の能力」			
		・投票できる年齢について、自分の意見をまとめて書く。 ・本文をリズムやイントネーションに注意しながら、相手に分かるように音読する。	・ワークシートを用いて、セクションごとにテーマを設定し、それについて英語を使って表現する。	・投票できる年齢について、自分の意見をまとめて書くことができる。 ・本文をリズムやイントネーションに注意しながら、相手に分かるように音読できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・速読や精読をすることで、本文の内容を正しく理解する。 ・投票年齢に関する討論において、友だちの意見や考えを、正確に聞き取る。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・速読や精読をすることで、本文の内容を正しく理解できる。 ・投票に関する討論において、友だちの意見や考えを、正確に聞き取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・無生物主語/ 関係代名詞 which の非制限用法/ 分詞構文(現在分詞)を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・無生物主語/ 関係代名詞 which の非制限用法/ 分詞構文(現在分詞)を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。